

東海・東南海・南海地震 シンポジウム

その時に備えて防災を考える

三重大学と和歌山大学では、三重県、和歌山県、熊野市、御浜町、紀宝町および新宮市とともに、東海・東南海・南海地震などの巨大地震に備えて、地震や津波への理解を深め、防災意識を高めていただくため、防災シンポジウムを開催します。また、防災関連資料の展示、地震体験車による地震体験およびAEDのデモンストレーション、無料住宅相談などもあわせて行います。

平成19年2月10日(土)熊野市民会館ホール

シンポジウム(13時00分～15時45分)

発表

- 「東紀州防災ネットワーク推進会議の活動について」
内藤一治(三重県熊野県民センター県民防災室 室長)
- 「東紀州防災ネットワーク推進会議災害時要援護者対策協議会の活動について」
濱中 康(三重県熊野市遊木自主防災会 会長)

パネルディスカッション

○パネルディスカッションⅠ

「災害を想定して地域の医療・看護を考える」

- 丸山一男(三重大学医学部医学科教授)、櫻井しのぶ(三重大学医学部看護学科教授)
- 中川一郎(三重大学国際交流センター客員教授)、平谷一人(熊野市立荒坂診療所 医師)
- 長谷川さおり(紀南医師会訪問看護ステーションほほえみ 看護師)
- コーディネーター:川口淳(三重大学災害対策プロジェクト室・大学院工学研究科助教授)

○パネルディスカッションⅡ

「災害時における孤立地域の情報発信・受信をどうするのか？」

- 佐藤周(和歌山大学経済学部助教授)、豊増伸治(和歌山大学客員助教授・みさと天文台)
- 今西武(和歌山大学客員助教授・NPO法人和歌山県木質資源開発機構)
- コーディネーター:此松昌彦(和歌山大学防災研究教育プロジェクト・教育学部助教授)

熊野市民会館案内図



展示と映像資料上映(12時～17時)



阪神淡路大震災「地震により火災発生」
(神戸大学所蔵資料より)



中越地震「小千谷市内の完全に倒壊した木造住宅」
(写真提供:川口助教授)



福岡県西方沖地震「揺れによって完全倒壊した伝統工法の建物」
(写真提供:川口助教授)



スマトラ島沖地震「津波により押し流された艦艇」
(写真提供:アジア工科大・本田助教授)

問い合わせ先 三重大学附属図書館 情報図書館チーム 総務担当 ☎059-231-9083
E-mail:lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp